

平成28年度 学修支援の取り組みについて

近年日本の大学が直面する課題に、入学者の基礎学力の低下が指摘されています。本学においても、入学前教育や、入学時の基礎学力を確認するためのテスト、これらの結果を分析して、サポートが必要な学生には、高校の校長を経験したアドミッションアドバイザーの協力の下、個別指導を行いました。

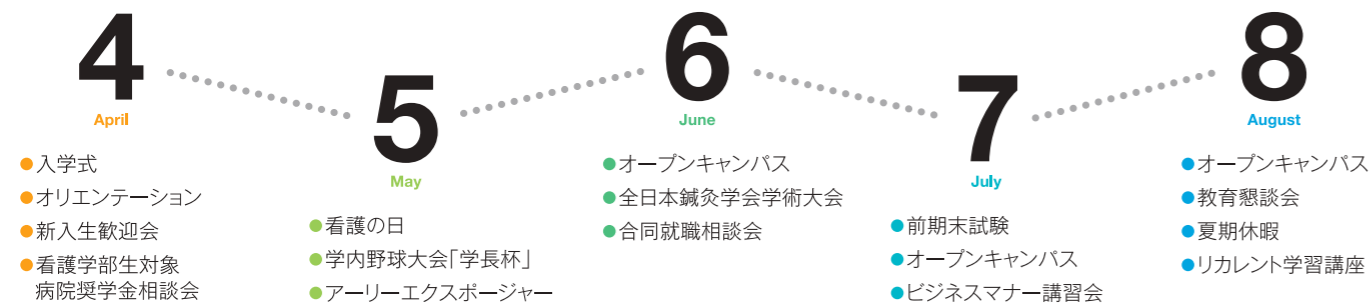
夏には前期の試験結果に応じて面接を行い、特に学生が苦手な解剖学・生理学を中心に、専門の教員による集中授業を実施し、苦手科目の克服に向けた取り組みを行いました。

一方、鍼灸学部の3年生や保健医療学部、看護学部の4年生は、国家試験に向けた取り組みがスタートし、6月頃から本格的に合格に向けての取り組みが始まりました。各学部とも学生を小グループに分けて学習をする仕組みを作り、各グループに教員が指導を行うチューター制度などを採っています。さらに積極的に模擬試験を利用して自分の学習到達度を確認しながら、不得意な科目をさらに学習する仕組みを採用しています。国家資格を取得して希望する職場に就職してもらうことが本学の願いです。国家試験に向けた取り組みについては、学生にはもちろん保護者の方にもよくご理解いただきご協力をお願いできればと考えています。

各学部に配置したアドバイザーが講義内容のサポートや、学生生活での相談やアドバイスなどの対応が取れる体制を備えておりますので、今後も気軽にご相談いただきたく願います。(教学部長:梅田 雅宏)



Schedule



明治国際医療大学

鍼灸学部 [鍼灸学科] * 保健医療学部 [柔道整復学科] * 看護学部 [看護学科] * 大学院 [鍼灸学研究科]
 〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL 0771-72-1183 FAX 0771-72-1189
 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



財団法人日本高等教育評価機構より
 大学評価基準を
 満たしていると認定
 されました。

明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.14

大学情報誌



卒業おめでとうございます!

木々が芽吹き始めた3月17日、今年も新たな門出に胸を膨らます卒業生178名を、卒業式という最後の学校行事で見送りました。岩井学長が一人ひとりに卒業証書・学位記を手渡した後、社会に羽ばたく卒業生へのエールを込めた式辞を述べ、看護学部の根釜宏平さんによる4年間の思い出と教職員への感謝の気持ちを答辞で締め括られました。参加した卒業生、在校生と教職員は、共に過ごしたこの4年間の思い出を振り返るよう、感慨深い一時となりました。本学でそれぞれが学んだことを基に、新たな活躍の場で学び、成長し、社会に貢献していただきたいと願います。

表彰者

- | | |
|-----------------|------------------|
| 学長賞 | 山中 一星(鍼灸学部) |
| 学長賞 | 深尾 遼平(保健医療学部) |
| 学長賞 | 堀江 綾女(看護学部) |
| 谷口健蔵賞 | 境野 昌行(大学院博士後期課程) |
| 全日本鍼灸学会会長表彰 | 川口 周平(鍼灸学部) |
| 日本鍼灸師会賞 | 勝野光太郎(鍼灸学部) |
| 全日本鍼灸マッサージ師会表彰 | 寺坂 優一(鍼灸学部) |
| 日本柔道整復接骨医学会賞 | 村松 美由(保健医療学部) |
| 日本柔道整復師会会長賞 | 草川 祐生(保健医療学部) |
| 日本私立看護系大学協会会長表彰 | 安田奈津加(看護学部) |
| 京都府看護協会花束贈呈 | 溝上 孝江(看護学部) |



第39回 たには祭を振り返って

今年のたには祭も無事に2日間を終えることができました。沢山の方々にお越しいただいたことを大変嬉しく思います。今年はテントやステージの配置変更、イベント内容の変更など新しい試みをしました。特に今回は多くの出演者の方に独創的なパフォーマンスを披露していただくなど、たには祭がより一層の盛り上がりを見せました。これは、たには祭に関わって頂いた全ての方々からの支援があったからこそ成功したものと確信しています。だからこそ、今年のテーマであった『NO TANIHA NO LIFE』という意味をより強く感じる事が出来ました。実行委員長として、たには祭の運営をどのようにすればスムーズに行えるのかという点で悩むことが多々ありました。今年の実行委員の人数は昨年よりも多いため、まとめるというよりも実行委員1人ひとりの個性を出していくことが1番だと考え実行しました。そうすることによって、今までのたには祭よりも少し違った味を出すことができたのではないかと考えています。また、指示を出すには全てのことを把握することの必要性や、何かが起こるだろう、何かが必要だろうと先読みが重要であり、これらのことを想像して逆算していくことでよりスムーズに進んでいくことを自分自身学びました。この経験はこれからの人生にも活用していきたいと思っています。最後に、たには祭を運営することができたのは、実行委員1人ひとりが責任を持って行動してくれたおかげです。みんなには感謝の気持ちでいっぱいです。来年もたには祭がより良いものになるように協力していきたいです。



第39回たには祭実行委員長 山田 涼太



スポーツ志向の医療人を目指して

本学では「スポーツ医療人」を京都から世界へ送り出そうと、2015年より「スポーツ振興プロジェクト」に取り組み、国家資格を有するアスリートを育成しています。今回は、強化指定クラブの一つであるサッカー部で活躍する学生を紹介します。



こんにちは! 保健医療学部1年生の浦川です。私は、小学校2年生から地元のサッカークラブに所属し、高校生の時は、ユースチームからトップチームのスペランツァFC大阪高槻(現コノミヤ・スペランツァ大阪高槻)に昇格しました。フィジカルトレーニングなどの厳しい練習に耐えて、スポーツスカラーシップという入試制度を利用し、明治国際医療大学に入学しました。今年の関西学生女子サッカーリーグ2部のベストイレブンにも選出していただき、充実した学生生活を送っています。現在のポジションはセンターバックで、高さを活かしたディフェンスを得意としています。大学の授業では、人体の構造や筋肉・骨の動きなどを学び、サッカーの練習・試合においても役立っていると思います。将来的には、プロのサッカー選手として活躍し、セカンドキャリアとして柔道整復師の資格を活かせたらと考えています。

1年生・2年生保護者様を対象とした 保護者懇談会を開催しました。

去る、平成28年10月16日(日)たには祭の2日目に1年生と2年生の保護者様を対象とした保護者懇談会を開催し、31名の方にご参加いただきました。8月に3年生4年生の保護者様を対象とした保護者懇談会を実施し、様々なご意見ご要望をいただいたところですが、このたび低学年の保護者の皆様からも、貴重なご意見やご要望を伺える機会となりました。この保護者懇談会については昨年度(平成27年度)に初めて開催し、大学改革等に関し非常に重要な事業である旨の意見が、教職員間で多くあったことから、本年度も同様に開催することとなりました。大学では内部における点検・評価等を行っておりますが、このような機会に保護者様の外からの視点でお気づきの事項をお聞かせいただくことにより、内部で確認できなかった多くの課題を確認することができました。これらのご意見等については、アドバイザーミーティング等において情報共有し、善処して参りたいと思います。今後より多くの保護者のご参加をお待ちしております。



当日、学部毎の意見交換会でいただいた主なご意見等

- 学食の食事が美味しくない。栄養面を考えた食事提供を望む。
- 国家試験対策について
- 看護学部における助産師コース・保健師コースについて
- 生理学・解剖学の授業についてゆけない

合同就職相談会を開催しました。

平成28年10月23日(日)、ホテル京都エミナースにおいて、鍼灸学部・保健医療学部3・4年生を対象とした就職相談会を開催しました。約70事業所参加があり、進路について一日に複数の事業所の説明を受けることができ、学部生にとって貴重な体験となりました。開始直後は緊張した面持ちで事業所ブースを訪れていましたが、徐々に積極的に事業所の担当者と相談し、就職活動に対し少し腰が重かった学生も、治療所見学のアポイントを取るなど、今後の就職活動に活かすことができたようです。昨年は100%を達成する就職決定率ですが、今年も希望していた4年生のうち、ほぼ全員が希望する就職先に就くことができました。3年生として参加した学生は、今年が本格的に就職活動のスタートとなります。この就職相談会の経験を活かし、卒業後に活躍できる場所を探す学生たちを、キャリア支援室は全力でサポートしていきます。



国家試験対策、臨床実習のご紹介

国家試験対策について

鍼灸学部では、教養、医療、鍼灸学を学び、「こころとからだ」の健康に貢献する優秀な人材を育てることを目標にしており、はり師・きゅう師国家試験はその通過点です。しかし、はり師・きゅう師国家試験に対する取り組みは、学生にとっては大きなイベントです。我々は、以下の事を目標に国家試験対策に取り組んでいます。

- ① このイベントを通じて医療人や人として成長する。
- ② 国家試験に合格する。
- ③ 医療人としての道は生涯学習であることを理解する。

国家試験は学生にとって大きなイベントであり、努力により乗り越えられるハードルです。その目標を達成するためには、「合格したい」という強い気持ち、「どこまでやればよいか」という焦り、「もし合格しなかったら」という不安等に打ち勝ちながら取り組む必要があります。このストレスに打ち勝ち「合格」することで学生は大きく成長します。今日も朝早くから夜遅くまで学生は取り組んでいます。

臨床実習のご紹介「丹後実習」

4年生で行う「丹後実習」は、前・後期1回ずつ1泊2日で実施しています。実習場所は京都府の1番北にある京丹後市丹後町間人(たいざ)です。この実習は学生の研鑽の場としてだけでなく、京丹後市社会福祉協議会と連携し、地域住民への福祉サービスの一環としても機能しています。その歴史は古く、本学の前身である明治鍼灸短期大学時代から続いています。本学は日本で唯一3年生で国家試験を受験できる大学であり、丹後実習ではそれぞれの学生が1人の患者さんを受け持って鍼灸治療を行っています。受付から始まり、医療面接、検査、診断、治療方針の決定、鍼灸施術の一連の流れを経験します。夜は日中経験した症例をカンファレンスで発表し、意見交換を行います。カンファレンスを終えると、学生同士や教員との間で学生生活や勉強、将来など様々な事を語り合う茶話会が始まります。これも宿泊を伴う実習ならではのものです。患者を1人で担当する緊張感や、治療が終わった後に患者さんから頂く温かい言葉で、学生には鍼灸師としての自覚が芽生えるようで、実習に行く前と帰ってきた後では別人のように成長した姿が見られます。



Interview /



卒業生インタビュー

儀IVFクリニック明生鍼灸院 古川 未侑さん(大学29期)

私は今、不妊症を専門としたクリニックの中にある鍼灸院に勤めています。学生の頃から不妊症の治療がしたいと考えており、先生にアドバイスを頂き今の職場に就きました。今の治療方法の中に、大学で学んだ治療法を使用しています。他大学では勉強出来ない専門的な治療の仕方を学べたからこそ、今の私があると思います。鍼灸師は、とても患者さんとの距離感が近い職業だと思います。不妊症の治療をされている患者さんは、色々なことを胸に抱えることが多く、毎日患者さんと向き合いながら治療するのは大変な面もありますが、妊娠しクリニックを笑顔で卒業されていく姿を見ると、とてもやりがいのある仕事だと実感します。自分のやりたい仕事に導いてくれた先生には心より感謝致します。自分が目指す鍼灸師に一歩でも近づけるよう一日一日を大切に、精進していきたいです。

柔道整復師国家試験合格への道

国家試験に対して充実したサポート体制

学ぶ喜びを知る→成績が上がる→さらにモチベーションが上がる 良・循・環

柔道整復師の国家試験は、平成17年以降、一般問題200問に必修問題30問が追加され、以前よりも難易度が上昇しています。このような国家試験に対しても合格できる学生を育成するために、保健医療学部 柔道整復学科でも様々な取り組みを実施しています。

① 充実した国家試験対策授業のカリキュラム

国家試験対策授業に関しては、3年生の後期から解剖学、生理学、柔道整復理論など主要基礎科目を講義し、4年生前期から国家試験直前まで主要3教科以外も含めた講義・試験を行っています。各科目に関し、全てにおいて専門の教員が丁寧に教授しています。非常に充実した国家試験対策カリキュラム構成となっています。

② 充実した国家試験模擬試験

国家試験模擬試験に関しては、学内で十数回も実施しており、学生が都度、自身自身の実力を試し克服できるよう配慮しています。さらに専門業者による学外の模試も3回導入しており、その内1回は、実際の国家試験会場を利用して実施しました。これにより、本番の雰囲気に慣れたり、交通機関の確認などができるなどの効果が期待できます。

③ 学生と教員が二人三脚で合格をめざす『チューター制度(少人数指導制度)』の導入

チューター制度とは、一般にチュートリアル(tutorial=個人指導の、家庭教師の)を取り入れた教育制度を示すものです。学生個々の能力や特性にフレキシブルな対応ができるよう、数名の学生グループに対し1名の教員をチューターとして配し、徹底したサポートを行っています。

④ 授業にアクティブ・ラーニングを導入

学生自ら『課題』を発見し、解決できるような授業を一部に取り入れています。具体的には、学生グループごとにテーマを決め、互いに出題し合い、この設問について互いに解説するようにしています。



学生自ら、夜遅くまで残って講師室前の机で勉強しています。教員の目の届くところで勉強し、指導を受けることで学生のモチベーションも上がります。



学生全員に対して、十把一絡げに同じ課題を与えたり指導を行ってもなかなか結果が出ません。本学保健医療学部 柔道整復学科では、教員1人が数名のみの学生を面倒見る少人数教育によって、学生が的確に苦手な部分を克服できる手助けを行っています。

Interview /



僕は、明治国際医療大学 保健医療学部を平成27年3月に卒業し、京都二条駅にある「こばやし鍼灸整骨院」に就職しました。こちらでは、骨盤・背骨矯正を中心に、アスリートのケアサポート、さらに美容鍼灸など多彩な技術に触れることができました。院長先生曰く、「明治国際医療大学の学生さんは素直で、かつ独学できる能力が高い」そうです。これは、明治国際医療大学のカリキュラムが、国家試験対策はもちろんのこと、それ以外の臨床的・実践的な分野についても十二分に学べるよう組まれているからだだと思います。これからも僕の後輩が、良い臨床家として活躍してくれることを期待しています。

保健医療学部 平成27年3月卒業 田中 彰宏くん

明治国際医療大学における 臨地実習の特徴

学生たちの看護師としての成長が最も感じられる臨地実習において、各領域の教員が学生たちの何を育むことを目的としているのかまとめてみました。今回は「基礎・急性・精神」領域についてご紹介いたします。



基礎看護学は、1年次から2年次にかけて、講義・演習・実習(基礎看護学実習I・基礎看護学実習II)を通して看護の基礎となる知識・技術・態度を学びます。学内演習では、患者役、看護師役を取りながら、日常生活援助や診療の補助技術などについての基礎を身につけます。基礎実習では、看護学生として初めての臨床実習にチャレンジします。



急性期看護学では、急性期にある成人の主として、手術を受ける対象を総合的に理解することや、治療に伴う回復過程や社会生活への適応に向けて、主体的に取り組めるように援助することを目的に実習を行っています。



メディア等で錯綜する精神障がい者に関する情報にまどわされることなく、学生たちの体験や、正しい知見をもとに判断できるよう、柔軟な思考を育みたいと考えています。国立・府立・私立のそれぞれの特徴を持つ3病院を実習施設として、精神に障がいを持つ人を理解し、精神看護に必要な知識および技術を養うことを目的として実習を行っています。

夢の実現に向けて～国師勉強 最前線!～

この年に一度の国家試験日に、学生たちは4年間の大学生活で学んだ知識・技術・経験の全てをぶつけます。持てる全ての力を発揮できるように、日々の勉強を積み重ねてきました。学生達全員の合格を教職員一同、心より祈っております。

※以下は、2017年の国家試験日です。

助産師
国家試験
2/16

保健師
国家試験
2/17

看護師
国家試験
2/19



ご存じですか、統合医療

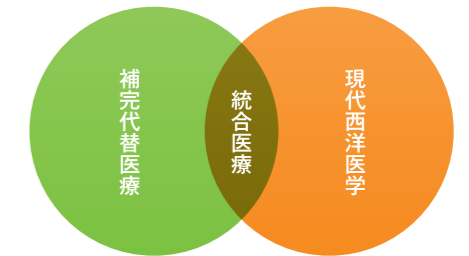
現代西洋医学は優れた医療です。確かな診断と効果的な薬によって、さまざまな病気を治療します。その一方で「薬だけでなく他の治療方法を加えたらもっと早く直るかもしれない」と思ったことはありませんか。

歴史的に見ると、世界中で多くの医療が発達してきました。漢方薬や鍼灸、柔道整復などがその一例です。これらの医療は補完・代替医療とも呼ばれます。補完・代替医療は、現代西洋医学では治療の難しい病気の症状を緩和し、鎮痛剤を用いることなく痛みを和らげるなど、独自の強みがあります。

内科や外科といった現代西洋医学に、鍼灸、柔道整復などの補完・代替医療を組合せる医療が統合医療です。両者の長所をより高め、反対に短所をカバーする理想的な医療といえます。このような統合医療の取り組みが、国内外で始まっています。本学も統合医療を積極的に推進しています。2010年に洛西にある京都エミナースに統合医療センターを開設しました。現代西洋医学はもちろんのこと、漢方、鍼灸、マッサージ、アロマ

セラピーなどさまざまな医療を行っています。

統合医療は、患者さま一人ひとりに合わせたオーダーメイドの医療です。医師の主導のもと、様々な職種の医療関係者が協力するチーム医療と位置づけられています。チームとして医療を行うため、医療関係者の間の相互理解が欠かせません。本学では、統合医療を実践できる医療人、すなわち東洋医学が理解できる看護師、現代西洋医学の知識を持った鍼灸師や柔道整復師の育成に今後も注力していきます。



明治国際医療大学 附属統合医療センター

〒610-1143 京都市西京区大原野東境谷町2-4
京都エミナース6階

[診察時間] 午前9:00～12:00 / 午後1:00～4:00

[休診日] 土曜午後、日曜、祝日、年末年始